福島原発事故による

長期影響地域の生活回復のための

福島県民と国際的な専門家との対話集会

一放射能汚染地域における

生活と環境の回復における住民参加の重要性—

Community Dialog Forum for Residents of Fukushima Prefecture with International Experts On Returning Life to Normal in Areas Affected with Long Term Radiation from the Fukushima Nuclear Accident

-The importance of the involvement of residents in

returning lives and the environment to normal in areas with

radioactive contamination -

- 2012年11月3日(土・祝)
- コラッセふくしま
- 主催 環境省 (The Ministry of the Environment)
- 協力 国際放射線防護委員会 (ICRP)

福島県立医科大学(the Fukushima Medical University)

主旨

このたび、放射線の健康影響等に関する豊富な知見を有する諸外国専門家を招いて福島県民の 皆様との対話集会を開催いたします。

国では、東京電力福島第一原子力発電所の事故時に放出された放射性物質による健康影響への 不安を抱える国民の皆様への対応として、放射線による健康影響や環境モニタリング結果等の 様々な情報提供と説明等を行っています。また、過去の原子力事故における住民への対応に関す る知見を有する国際放射線防護委員会(ICRP)からは、福島県においても除染と廃棄物処理、放 射線教育や健康調査等を通じて、福島県民の皆様の生活と環境が回復しつつあると指摘されてい ます。

この対話集会は、日ごろより福島県民の皆様が抱いている放射線による健康影響に関しての不 安や疑問に対して、科学的知見を有した専門家がお応えし、放射線による健康影響等に関して理 解を深めていただくためのものです。

なお当日は自由に討論できるよう、同時通訳を準備してございますので、ぜひ多くの方々にご 参加いただき、日ごろの疑問など自由にご質問をいただければと存じます。

Purpose of this Forum

This community dialog forum is being held for residents of Fukushima Prefecture to discuss matters such as the effects on health from exposure to radiation, with overseas experts who have expertise and knowledge in this field.

There are citizens who hold concerns about the impact on health from the radioactive material that was released at the time of the accidents at the Tokyo Electric Power Company's Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant. To address these concerns, the Japanese government has been making information available and conducting community meetings on matters including the effects of radiation on people's health and the results of environmental monitoring. On a related note, the International Commission on Radiological Protection (ICRP), an international organization with knowledge and expertise in the experience of local residents affected by other nuclear power accidents in the past, has noted that the relevant measures being undertaken in Fukushima Prefecture, which include decontamination, waste treatment and disposal, educating people about radiation, and monitoring people's health, have meant that both Fukushima's environment and life for its residents are also returning to normal.

The purpose of this community dialog forum is to have scientific experts address the concerns and questions that Fukushima residents have had for some time about the impact on health from exposure to radiation. The aim is to give residents a greater understanding of such matters including such health effects.

Simultaneous interpretation will be provided at the meeting to allow discussions to take place freely. The Ministry would like to see many people attend the meeting, and it encourages people to raise the issues that have long concerned them.

福島原発事故による長期影響地域の生活回復のための

福島県民と国際的な専門家との対話集会

---放射能汚染地域における生活と環境の回復における住民参加の重要性---

日時	平成24年11月3日(土・祝)9:30~12:30
場所	コラッセ福島(福島駅西口)
定員	100名(申込者多数の場合は抽選)
主催	環境省
協力	国際放射線防護委員会 (ICRP)、福島県立医科大学

主旨

このたび、放射線の健康影響等に関する豊富な知見を有する諸外国専門家を招いて福島県民の皆様との対話集会を開催いたします。

国では、東京電力福島第一原子力発電所の事故時に放出された放射性物質による健康影響への不 安を抱える国民の皆様への対応として、放射線による健康影響や環境モニタリング結果等の様々な 情報提供と説明等を行っています。また、過去の原子力事故における住民への対応に関する知見を 有する国際放射線防護委員会(ICRP)からは、福島県においても除染と廃棄物処理、放射線教育や 健康調査等を通じて、福島県民の皆様の生活と環境が回復しつつあると指摘されています。

この対話集会は、日ごろより福島県民の皆様が抱いている放射線による健康影響に関しての不安 や疑問に対して、科学的知見を有した専門家がお応えし、放射線による健康影響等に関して理解を 深めていただくためのものです。

なお当日は自由に討論できるよう、同時通訳を準備してございますので、ぜひ多くの方々にご参 加いただき、日ごろの疑問など自由にご質問をいただければと存じます。

9:30 開会 9:30 - 9:35 開会の挨拶 環境省総合環境政策局環境保健部長佐藤敏信 9:35 - 9:40 専門家代表より歓迎の挨拶 クレア・カズンズ(ICRP主委員会委員長) 9:40 - 9:50 話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 9:50 - 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 情報提供: 菊池克彦(福島民友)、大森真(テレビュー福島)、梶原				
環境省 総合環境政策局 環境保健部長 佐藤敏信 9:35 - 9:40 専門家代表より歓迎の挨拶 クレア・カズンズ (ICRP主委員会 委員長) 9:40 - 9:50 話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャール (ICRP第4委員会長) 9:50 - 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子 (大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之 (土屋病院) 院染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール (ICRP第4委員会長)				
 9:35 - 9:40 専門家代表より歓迎の挨拶 クレア・カズンズ(ICRP主委員会 委員長) 9:40 - 9:50 話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 9:50 - 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 単川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 院染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
クレア・カズンズ(I C R P 主委員会 委員長) 9:40 - 9:50 話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャール(I C R P 第 4 委員会長) 9:50 - 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(I C R P 第 4 委員会長)				
9:40 – 9:50 話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 9:50 – 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 – 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長)				
 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 9:50-10:30 福島からの発信 早川正也(福島民報) 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45-12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
 9:50 - 10:30 福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム) 10:30-10:45 (休憩) 10:45 - 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長) 				
10:30-10:45 (休憩) 10:45 – 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長)				
10:45 – 12:25 ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャール(ICRP第4委員会長)				
進行 ジャック・ロシャール (ICRP第4委員会長)				
情報提供:菊池克彦(福島民友)、大森真(テレビユー福島)、梶原				
情報提供 : 菊池克彦(福島民友)、大森真(テレビユー福島)、梶原				
みずほ(朝日新聞)、佐藤利松(JA 新ふくしま)、半澤隆宏(伊達市)、				
野中俊吉(コープ福島)、崎田裕子(NPO 元気ネット)、佐藤晴美(
岡町)				
ラウンドテーブルでの討論と会場との意見交換				
12:25-12:30 ラウンドテーブル討論を終えて				
アベル・ゴンザレス(ICRP主委員会 副委員長)				
12:30 閉会				

プログラム

```
Program
```

9:00	Doors open
9:30	Meeting starts
9:30 - 9:35	Opening address
	Speaker: Toshinobu Sato, Ministry of the Environment Radiation Health Management Councilor
9:35 – 9:40	Welcome address by the member representing the panel of experts
9:40 – 9:50	Speaker: Dr. Claire Cousins, Chair, ICRP Main Commission Topic: The importance of the involvement of residents in returning life to normal after an incident of radiation contamination Speaker: Mr. Jacques Lochard, Chair, ICRP Committee 4
9:50 - 10:30	Messages from Fukushima community members
	Message from the local media Masaya Hayakawa (Fukushima Minpo) Message from local residents Reiko Hachisuka (Ōkuma Town) Message from the local medical fraternity Toshiyuki Tsuchiya (Tsuchiya Hospital)
	Message from the decontamination team Masaru Moriya (Ministry of the Environment's Fukushima Decontamination Promotion Team)
10:30-10:45	Morning break
10:45 – 12:25	Roundtable discussion: Dialog between Fukushima residents and community members and the international experts
	 Facilitator Mr. Jacques Lochard, Chair, ICRP Committee 4 Information provided by: Katsuhiko Kikuchi (Fukushima Minyu Shimbun), Makoto Ōmori (TV-U Fukushima, Inc.), Mizuho Kajiwara (The Asahi Shimbun), Toshimatsu Satō (JA Shin Fukushima), Takahiro Hanzawa (Date City), Shunkichi Nonaka (Co-op Fukushima), Yūko Sakita (NPO Genki Net), and Harumi Sato (Tomioka Town) Exchange of views between the roundtable discussion panel and audience on the floor
12:25 -12:30	Final conclusion of roundtable discussion
	Speaker: Acad. Abel González, Vice-Chair, ICRP Main Commission
12:30	Meeting closes

話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性(ジャック・ロシャール)【英語版】



Why to engage stakeholders in radiological protection?

- To take into account more effectively their concerns and expectations and the specificity of the contexts in which they are exposed
- To adopt more effective protection actions
- To maintain vigilance
- To favour their accountability and their autonomy
- To improve the quality of the processes that contribute to social trust and public confidence
- To inform controversies and to facilitate the emergence of compromise

Affected people are on the front of the stage in case of an accident

MINING COMPANY COMPANY ON AND A COMPANY OF A







« After the nuclear accident, raging voices over Fukushima left behind those of us who live in Fukushima. Everybody wanted to have their say disregarding what we think and feel. I could not accept that. I even felt angry. The reason why I started ETHOS in Fukushima comes from the conviction that it is we who should narrate our life. In the midst of the turmoil, ICRP111 was the only support for our mind ».

Ryoko Ando, Iwaki City Ethos in Fukushima

6



 The same interrogations: "Should we stay or leave?", "Should we return or not return?"

7

• The same fear: to be progressively abandoned

AL COMMUNICAL OR AND AD LOGICAL PROTOCTION







話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性(ジャック・ロシャール)【日本語版】

















福島から発信:除染チームからの発信(森谷賢)【日本語版】



















		本格除染(面的な除染)			1		
	先行除染 (拠点の除染)	事前準備 (権利者の特定等)	除染計画の策定	除染作業	仮置場の地元調整 ・工事	主な課題	
田村市	0	0	〇(4/13) 面積推計:約490ha	〇(7/25~) 24年度中実施面積(目 標):約490ha	O(確保済み)		
楢葉町	0	0	〇(4/13) 面積推計:約2360ha	〇(9/6~) 24年度中実施面積(目 標):約1,420ha	〇(確保済み)	 ・個別要望への迅速な対処 ・除染の活動や効果に関する不安解消 ・仮置場の設置に対する理解 	
川内村	0	0	〇(4/13) 面積推計:約420ha	O(9/4~) 24年度中実施面積(目 標):258ha	Q(確保済み)		
飯館村	0	0	〇(5/24) 面積推計:約5870ha	〇(9/25~) 24年度中実施面積(目 標):352ha	O (一部確保済み)		
川侯町	0	o	〇(8/10) 面積推計:約1620ha	準備中	Q(確保済み)		
葛尾村	0	0	〇(9/28) 面積推計:約1670ha		O(確保済み)		
南相馬市	0	0	〇(4/18) 面積推計:約6090ha		地元調整中		
浪江町	0	0	地元調整中		地元調整中	 ・復興の絵姿 に沿った除 染、区域見 直し 	
大熊町	0	0	地元調整中		地元調整中		
富岡町	0	o	地元調整中		地元調整中		
双葉町							







非直轄地域の除染の進捗状況(全体)

86市町村において、除染実施計画の協議を終了(平成24年10月1日時点) (除染に関する緊急実施基本方針に基づく除染計画を策定した市町村を併せると94市町村)

都道府県名	市町村数	汚染状況重点調査地域として指定された市町村 ※は、除染に関する緊急実施基本方針に基づく除染計画を策定した市町村					
		協議済市町村	協議中市町村	当面策定 予定なし			
岩手県	3	一関市、奥州市、平泉町 (3市町村)					
宫城県	9	白石市、角田市、栗原市、七ヶ宿町、大河原町、丸森町、山元町、 亘理町 (8市町村)		石巻市			
福島県	41	福島市 [※] 、須賀川市 [※] 、相馬市 [※] 、二本松市 [※] 、伊達市 [※] 、桑折町 [※] 、 大玉村 [※] 、鏡石町 [※] 、天栄村、会津坂下町、湯川村 [*] 、会津美里町、 西郷村 [*] 、泉崎村 [*] 、中島村 [*] 、矢吹町 [※] 、棚倉町 ^{**} 、鮫川村 ^{**} 、 玉川村 ^{**} 、平田村 ^{**} 、浅川町 ^{**} 、古殿町 ^{**} 、小野町 ^{**} 、広野町 ^{**} 、 新地町 ^{**} 、田村市 ^{**} 、川俣町 ^{**} 、川内村 ^{**} 福島県内36市町村で除染実施計画又は緊急実施方針(5)	国見町※、石川町※、 三春町 [※] 、南相馬市※ (8市町村)	三島町、 昭和村、 矢祭町、 塙町、 柳津町			
茨城県	20	日立市、土浦市、龍ケ崎市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市 取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、守谷市、稲敷市、 つくばみらい市、東海村、美浦村、阿見町、利根町 (19市町村)		鉾田市			
栃木県	8	佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、塩谷町、 那須町 (8市町村)					
群局条	12	桐生市、沼田市、渋川市、みどり市、下仁田町、中之条町、高山村、 東吾妻町、川場村 (9市町村)	安中市	片品村、 みなかみ町			
埼玉県	2	三鄉市、吉川市 (2市町村)					
千葉県	9	松戸市、野田市、佐倉市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ケ谷市、 印西市、白井市 (9市町村)					
Ħ	104	86	9	9			







霧箱による放射線の観察

福島から発信:除染チームからの発信(森谷賢)【英語版】



















	Priority decontamination (key area)	Full-scale decontamination (area-wide work)				
		Preparation (identification of the right holders, etc)	Formulation of decontamination plans	Decontamination work	Local coordination and construction of temporary storage place	Key problems
Tamura City	~	~	✓ (Apr. 13) Estimated area: Approx. 490 ha	✓ (From July 25) Target area in FY2012: Approx. 490 ha	✔ (Secured)	
Naraha Town	~	~	✓ (Apr. 13) Estimated area: Approx. 2,360 ha	✓ (From Sept. 6) Target area in FY2012: Approx. 1,420 ha	✔ (Secured)	Prompt respons to individual
Kawauchi Village	~	~	✓ (Apr. 13) Estimated area: Approx. 420 ha	✓ (From Sept. 4) Target area in FY2012: Approx. 258 ha	✔ (Secured)	requests
litate Village	v	~	✓ (May 24) Estimated area: Approx. 5,870 ha	✓ (From Sept. 25) Target area in FY2012: Approx. 352 ha	✓ (Partially secured)	
Kawamata Town	~	~	✓ (Aug. 10) Estimated area: Approx. 1.620 ha	In preparation	✔ (Secured)	Elimination of a regarding the
Katsurao Village	~	~	 (Sept. 28) Estimated area: Approx. 1.670 ha 		✔ (Secured)	activities and ef of decontamina Public understa in relation to the
Minami-Soma City	~	~	✓ (Apr. 18) Estimated area: Approx. 6,090 ha		Under discussion	in relation to the temporary stora spaces
Namie Town	~	~	Under discussion		Under discussion	
Okuma Town	~	~	Under discussion		Under discussion	Decontaminatio and area review in line with
Tomioka Town	~	~	Under discussion		Under discussion	reconstruction
Futaba Town						l







Progress of the Decontamination in the Areas out of the Special Decontamination Areas

Consultations on decontamination plans have been concluded in <u>86 municipalities</u> (as of October 1, 2012). (94 municipalities in total including those that have drawn up a plan based on the Basic Policy for Emergency Response on Decontamination Work)

Name of	Number of	Municipalities designated as an intensive contamination survey area An asterisk (*) indicates a municipality that has drawn up a decontamination plan based on the Basic Policy.					
Prefecture Municipalitie		Municipalities that have completed consultations	Municipalities that are still involved in consultation	Municipalities with no plan			
Iwate	3	Ichinoseki City, Oshu City, and Hiraizumi Town (3 municipalities)					
Miyagi	9	Shiroishi City, Kakuda City, Kurihara City, Shichikashuku Town, Ogawara Town, Marumori Town, Yamamoto Town, and Watari Town (8 municipalities)		Ishinomaki Cit			
Fukushima	41	Fukushima City*, Sukagawa City*, Soma City*, Nihonmatsu City*, Date City*, Kori Town*, Otama Village*, Kagamishi Town*, Tenet Village, Aizu-Bange Town, Yugawa Village*, Azu-Misato Town, Nishigo Village*, Izumizaki Village*, Nakajima Village*, Yabuki Town*, Tanagura Town*, Samegawa Village*, Tamakawa Village*, Hirata Village*, Asakawa Town*, Furudono Town*, Ono Town*, Hinono Town*, Shinchi Town*, Tamura City*, Kawamata Town*, and Kawauchi Village* (28 municipalities) Fukushima has 36 municipalities that have completed a decontamination plan or on	Koriyama City", Iwaki City", Shirakawa City", Motorniya City", Kunimi Town", Ishikawa Town", Miharu Town", and Minami-Soma City" (8 municipalities) he based on the Basic Policy.	Mishima Town Showa Village Yamatsuri Town, Hanawa Town, and Yanaizu Town			
Ibaraki	20	Hitachi City, Tsuchiura City, Ryugasaki City, Joso City, Hitachi-Ota City, Takahagi City, Kita-Ibaraki City, Toride City, Ushiku City, Tsukuba City, Hitachi-Naka City, Kashima City, Moriya City, Inashiki City, Tsukuba-Mirai City, Tokai Village, Miho Village, Ami Town, and Tone Town (19 municipalities)		Hokota City			
Tochigi	8	Sano City, Kanuma City, Nikko City, Otawara City, Yaita City, Nasu-Shiobara City, Shioya Town, and Nasu Town (8 municipalities)					
Gunma	12	Kiryu City, Numata City, Shibukawa City, Midori City, Shimonita Town, Nakanojo Town, Takayama Village, Higashi-Agatsuma Town, and Kawaba Village (9 municipalities)	Annaka City	Katashina Village and Minakami Town			
Saitama	2	Misato City and Yoshikawa City (2 municipalities)					
Chiba	9	Matsudo City, Noda City, Sakura City, Kashiwa City, Nagareyama City, Abiko City, Kamagaya City, Inzai City, and Shiroi City (9 municipalities)					
Total	104	86	9	9			





Decontamination Information Plaza operated by Fukushima Pref. and MOE

FUNCTIONS

1)To provide decontamination information such as fundamental knowledge, project plans- and-progress and volunteers' decontamination work etc. with exhibition and the website of the plaza.

2)To dispatch decontamination experts to local communities and to consult decontamination work.

3)To hold lecture courses in-and-outside the plaza.

 To make outside exhibition at local community sites.

OPEN

10:00 - 17:00 on Tuesday to Sunday (closed on Monday)

ACCESS

- Address: 1-31 Sakaemachi, Fukushima City, Fukushima Pref. (5 min. on foot from the Fukusima Station) : 024-529-5668 Tel.
- Website : http://josen-plaza.env.go.jp/





Seminar to public



Radiation observation